

## 小松市民センター使用の承認等に関する業務

## 1. 専用の受付

## (1) 受付の期間

専用の受付期間は次のとおりとし、受付時間は、市民センター開館日の午前9時から午後5時までとする。

ア 大ホール及び小ホール並びにこれらに伴い使用する施設

使用日の属する月の1年前の初日（休館日に当たるときはその翌日）から当該使用日の前日まで（休館日に当たるときはその前々日）。

イ 前記ア以外のもの

使用日の属する月の3か月前の初日（休館日に当たるときはその翌日）から当該使用日の前日まで（休館日に当たるときはその前々日）。

ウ 受付期間の特例とするとき

次の場合は、前記ア、イの期間にかかわらず、使用申請等の受付を行う。

- a 小松市が市の事業として利用するとき。
- b 小松市立の学校が学校行事として利用するとき。
- c 官公署が市民を対象とした事業に利用するとき。
- d 国または地方公共団体および全市にまたがる公共団体、その他これに類する団体で、大規模な行事を実施するため、とくに必要と認められるとき。
- e その他市長が特に必要があると認めるとき。

なお、市民センターの休館日には、使用申請等の受付業務は行わないものとする。ただし、市民センター休館日の受付について、指定管理者が、支障がないと認め、あらかじめ市長と協議したときは、この限りでない。

## (2) 受付方法

ア 使用の受付は、使用承認申請書（様式第1号）の提出により受け付けるものとする。

イ 申請の受付は先着順とする。ただし、受付開始時間において複数の申請があった場合は、その受付開始時間における申請者で抽選を行い、申請の順序を決定する。

ウ 興行を目的とした使用の場合は、申請者に誓約書（様式第2号）を提出させる。

エ 同一使用者が引き続き6日間を超えて利用することはできない。

## 2. 個人使用の受付

コミュニティ供用施設の大集会室兼体育室及び老人福祉施設について、個人使用の受付を行うこと。なお、個人使用の申込みは使用時申込みとする。

## 3. 使用の制限

(1) 大集会室兼体育室の専用使用は、以下のいずれかの場合に限る。

ア 市民センター開館日の夜間における使用。

イ 公共団体の催す体育大会または集会等における使用。

(2) 大集会室兼体育室における午前・午後の個人使用は、幼児・児童並びにその付き添いの者を優先とする。

(3) 屋外運動場にある多目的広場については、表 1 にある使用制限を遵守するものとする。

表 1 市民センター 多目的広場 使用制限

使用期間	6 月 1 日～10 月 31 日 使用期間外に大会等の使用申請があった場合、その都度検討する。
使 用 日	<p>1. 原則、使用できる日は水曜日と日曜日とする。これ以外の日は芝生養生日とする。ただし、大会等で土曜日・日曜日を連続して使用した場合は、直後の水曜日は使用できない。なお、芝生養生日であっても、グラウンドゴルフ、ゲートボール等の芝生を傷める恐れのない使用の場合、火曜日と木曜日也可以使用。</p> <p>2. 使用申込みは 1 団体 1 度につき 3 回までとし、連続使用日数は 2 日までとする。ただし、大会等により連続 3 日以上の使用申請があった場合は、その都度検討する。</p> <p>3. 市民センターの休館日は使用できない。</p>
使用条件	<p>1. 使用は 1 日 1 団体とし、使用時間は 1 日 8 時間以内とする。</p> <p>2. 使用は片面を基準とする。</p> <p>3. 1 団体はおおむね 10 名以上とする。</p> <p>4. 練習での使用は可とする。その際、ライン引きは不可とする。</p> <p>5. 大会等でのライン引きは可とするが、その際、「セーフティホワイト」「グラウンドマーカー」と同等品を使用すること。</p> <p>6. 雨天時などでグラウンドコンディションが悪い場合、管理者の判断により使用できない場合がある。</p> <p>7. ゴルフ・野球・ソフトボール等の金属ピンのスパイクを用いる競技及びキャンプファイヤー・バーベキュー・綱引き等の芝生を傷めたり周囲の迷惑となる内容が含まれる場合は使用できない。</p> <p>8. 使用者はグラウンド使用后、グラウンド整備（目土・散水等）を行うものとする。</p>

#### 4. 使用料金

- (1) 使用時間区分と基本使用料、冷暖房使用料、付属設備使用料は、表 2～6 のとおりとする。
- (2) 使用料の納入は前納とする。ただし、国、地方公共団体、その他これに類する団体およびこれらと共催する団体は、使用後に納入することができる。
- (2) 使用時間の延長は原則として認めない。
- (3) 使用時間が区分に満たない場合、時間割り計算はしないものとする。
- (4) 使用時間には、開場の準備（搬入・仕込み）、片付け等に要する時間を含む。
- (5) 使用時間区分を連続して使用するときの使用料は、それぞれの使用区分の使用料を加算して得た額とする。ただし、午前、午後、夜間の使用区分を全て連続して使用するとき、全日の使用区分を適用する。
- (6) 使用区分以外の時間に使用する場合（前項に規定する場合を除く。）の使用料は、1 時間につき、その使用が午前 6 時から午前 9 時までのときは午前の、正午から午後 1 時まで、又は午後 5 時から午後 6 時までのときは午後の、午後 10 時から翌日の午前 6 時までのときは夜間の、それぞれの使用料の額を使用時間で除して計算した額の 100 分の 120 に相当する額とする。この場合において、使用時間に 1 時間未満の端数があるとき、又はその全時間が 1 時間

未満であるときは、その端数時間又は全時間が 30 分以上であるときはこれを 1 時間に切り上げ、30 分未満であるときはこれを切り捨てる。

(7) 条例又は条例に基づく諸規定により算出した使用料の合計額に、10 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

表 2 小松市民センター 基本使用料 (1)

(単位：円)

施設名 使用区分				使用料の額（円）			
				午前 （午前 9 時から正午まで）	午後 （午後 1 時から午後 5 時まで）	夜間 （午後 6 時から午後 10 時まで）	全日 （午前 9 時から午後 10 時まで）
特別集会施設	大ホール			11,000 （14,200）	18,800 （23,400）	23,400 （29,100）	45,400 （57,000）
	小ホール			7,000 （8,700）	12,200 （14,900）	15,300 （18,500）	29,300 （35,800）
	楽屋 1			600 （700）	900 （1,300）	1,300 （1,600）	2,400 （2,900）
	楽屋 2			600 （700）	900 （1,300）	1,300 （1,600）	2,400 （2,900）
	楽屋 3			600 （700）	900 （1,300）	1,300 （1,600）	2,400 （2,900）
	マルチスタジオ			1,700 （2,200）	2,800 （3,700）	3,600 （4,600）	6,900 （8,900）
	シャワー室			400	500	500	1,400
コミュニティ供用施設	大集会室兼体育室	個人（1回2時間以内）	以下高校生	無料	無料	100	
			一般	100			
		専用（片面当たり）	スポーツ	900	1,600	1,900	3,700
			以外スポーツ	4,200	7,000	8,800	16,900
		スマイルルーム			無料	無料	2,100

	ホットルーム	1,000	1,700	2,100	4,200
	ミーティングルーム	2,100	3,400	4,200	8,400
	セミナールーム A	1,000	1,700	2,100	4,200
	セミナールーム B	1,000	1,700	2,100	4,200
	セミナールーム C	1,000	1,700	2,100	4,200
	和室 1	500	800	1,000	2,100
	和室 2	500	800	1,000	2,100
老人福祉施設（個人使用）		100			

表 3 小松市民センター 基本使用料（2）

（単位：円）

施設名 使用区分				使用料の額（円）	
				昼間 （午前 9 時から午後 5 時まで）	夜間 （午後 5 時から午後 9 時まで）
屋 外 運 動 場	多目的 広場	専用（片面 1 時間あたり）	高校生以下	300	600
			一般	500	1,000

表 4 冷暖房の使用料

(単位：円)

施設名			単位	使用料の額 (円)
特別集会施設	大ホール	舞台面のみの場合	1 回	4,000
		全体的場合	1 回	12,400
	小ホール		1 回	5,700
	楽屋 1 (1 室当たり)		1 室・1 回	800
	楽屋 2		1 室・1 回	800
	楽屋 3		1 室・1 回	800
	マルチスタジオ		1 室・1 回	2,100
コミュニティ 供用施設	大集会室兼体育室		片面・1 回	5,900
	スマイルルーム		1 室・1 回	2,100
	ホットルーム		1 室・1 回	1,000
	ミーティングルーム		1 室・1 回	2,100
	セミナールーム A		1 室・1 回	1,000
	セミナールーム B		1 室・1 回	1,000
	セミナールーム C		1 室・1 回	1,000
	和室 1		1 室・1 回	800
	和室 2		1 室・1 回	800

- 1 この表において、1 回とは 4 時間以内をいう。
- 2 冷暖房の使用時間が 4 時間を超える場合は、1 時間ごとに上記使用料の 4 分の 1 の額を加算する。
- 3 スマイルルームの冷暖房使用料は、午後 6 時から午後 10 時までの利用に係るものについてのみ徴収する。
- 4 この規則に基づき算出した使用料の合計額に、10 円未満の端数があるときは、その端数全部を切り捨てる。

表5 付属設備使用料

区分	設備名	単位	使用料の額（円）
舞台設備	所作台	1 式・1 回	5,300
	花道用所作台	1 式・1 回	1,000
	平台（3×6）	1 枚・1 回	300
	平台（4×6）	1 枚・1 回	300
	平台（3×9）	1 枚・1 回	300
	平台（4×9，6×6）	1 枚・1 回	300
	能舞台（所作台を含む。）	1 式・1 回	10,800
	音響反射板（ダウンライトを含む。）	1 式・1 回	6,500
	松羽目及び竹羽目	1 式・1 回	3,000
	金びょうぶ	1 双・1 回	2,200
	演台 A（花台を含む。）	1 式・1 回	1,000
	演台 B（花台を含む。）	1 式・1 回	500
	ひもうせん	1 枚・1 回	300
	上敷き	1 枚・1 回	200
	指揮者用譜面台（指揮台を含む。）	1 式・1 回	1,000
	譜面台	1 台・1 回	100
	持込み地がすり	1 式・1 回	3,200
	予備つり	1 本・1 回	500
	雪かご	1 式・1 回	500
	取外しピット	1 式・1 回	5,400
照明設備	フットライト	1 列・1 回	300
	花道フットライト	1 列・1 回	300
	大ホール ボーダーライト	1 列・1 回	800
	小ホール ボーダーライト	1 列・1 回	500
	サスペンションスポットライト(500W)	1 台・1 回	300
	サスペンションスポットライト(1KW)	1 台・1 回	400
	大ホール アッパーホリゾンライト	1 列・1 回	1,500
	小ホール アッパーホリゾンライト	1 列・1 回	500
	大ホール ロアーホリゾンライト	1 列・1 回	1,500
	小ホール ロアーホリゾンライト	1 列・1 回	500

	シンプルライト	1 台・1 回	400
	トーマンタルライト	1 基・1 回	1,700
	フロントサイドライト	1 列・1 回	1,300
	ピンスポットライト (650W)	1 台・1 回	400
	大ホール シーリングライト	1 列・1 回	800
	小ホール シーリングライト	1 組・1 回	600
	センタースポットライト (2 KW)	1 基・1 回	2,300
	スポットライト (500W)	1 台・1 回	300
	スポットライト (1 KW)	1 台・1 回	400
	スポットライト (1.5KW)	1 台・1 回	500
	展示用スポットライト	1 式・1 日	1,000
	エフェクトマシン	1 式・1 回	900
	ミラーボール	1 台・1 回	800
	ストロボ	1 式・1 回	800
	スモークマシン	1 台・1 回	1,000
	ドライアイスマシン	1 台・1 回	1,000
	ストリップライト	1 本・1 回	400
	持込み器具	1 KW	300
音響機器	テープレコーダー	1 台・1 回	1,000
	残響附加装置	1 台・1 回	1,700
	CD プレーヤー	1 台・1 回	1,000
	DVD プレーヤー	1 台・1 回	1,000
	MD プレーヤー	1 台・1 回	1,000
	移動ステージスピーカーA	1 台・1 回	1,000
	移動ステージスピーカーB	1 台・1 回	800
	移動はね返りスピーカー	1 台・1 回	600
	大ホール 拡声装置	1 式・1 回	3,000
	小ホール 拡声装置	1 式・1 回	1,600
	コンデンサーマイク	1 本・1 回	1,200
	ダイナミックマイク	1 本・1 回	700
	ワイヤレスマイク	1 本・1 回	1,400
	エレベーターマイクロホン装置	1 基・1 回	1,700

	つりマイクロホン装置	1 式・1 回	1,700
	可搬式ワイヤレスアンプ	1 台・1 回	1,000
	レクチュアアンプ	1 台・1 回	1,700
	大集会室兼体育室 拡声装置	1 式・1 回	1,000
	大ホール LINE 受け	1 式・1 回	3,200
	小ホール LINE 受け	1 式・1 回	2,200
	大ホール 持込み音響装置	1 式・1 回	5,400
	小ホール 持込み音響装置	1 式・1 回	3,200
	セミナールーム ワイヤレスマイク	1 本・1 回	1,400
	セミナールーム 拡声装置	1 式・1 回	1,000
	セミナールーム MD/CD プレーヤー	1 台・1 回	1,000
	セミナールーム BD/DVD プレーヤー	1 台・1 回	1,000
	多目的広場 拡声装置	1 式・1 回	1,000
楽器	グランドピアノ A	1 台・1 回	10,800
	グランドピアノ B	1 台・1 回	4,300
映写設備	16 ミリ映写装置	1 台・1 回	3,800
	大ホールスクリーン	1 基・1 回	1,400
	小ホールスクリーン	1 基・1 回	700
	移動スクリーン	1 台・1 回	300
	OHP (大ホール用)	1 台・1 回	1,700
	ビデオシステム	1 式・1 回	2,600
	プロジェクター (大型)	1 式・1 回	4,200
	プロジェクター (小型)	1 式・1 回	2,100
	プロジェクター (セミナールーム)	1 式・1 回	2,100
	スライド映写装置	1 台・1 回	2,200
体育用具	バスケットボールスタンド	1 組・1 回	300
	バレーボール用ポール・ネット	1 組・1 回	300
	バドミントン用ポール・ネット	1 組・1 回	100
	卓球台	1 組・1 回	200
	サッカーゴール	1 基・1 回	500
	体育室昼間照明 (片面当たり)	1 式・1 回	400



	ラグビーゴールポスト	1 基・1 回	500
	グラウンドゴルフセット（16 ホール）	1 式・1 回	500
	テント	1 張・1 日	1,000
その他	小ホール用つり展示パネル	1 枚・1 日	400
	移動展示パネル	1 枚・1 日	200
	移動間仕切	1 枚・1 日	100
	ホワイトボード	1 台・1 日	100
	予備つり用ポール	1 本・1 回	100
	演台 C	1 台・1 回	300
	コインロッカー	1 箱・1 回	100
	温水シャワー（屋外更衣室）	3 分	100
	お茶	50 人ごと	700
	お湯	50 人ごと	500

## 5. 使用料の減額・増額・減免

### (1) 次のとおりに基本使用料の減額を行う。

- ア 小松市が直接使用する場合は、基本使用料に 50% を乗じた額を減額する。
- イ 小松市が共催する事業に使用する場合は、基本使用料に 30% を乗じた額を減額する。
- ウ 小松市が後援する事業に使用する場合は、基本使用料に 20% を乗じた額を減額する。
- エ 小松市が直接使用する場合を除き、大ホール又は小ホールを練習、準備等のために使用する場合は、基本使用料に 30% を乗じた額を減額する。

### (2) 営利を目的とした催し物、営業の宣伝等に使用する場合は、基本使用料に 100% を乗じて得た額を加算し、使用料を増額する。なお、営利目的で使用する場合は練習・準備等については、基本使用料に 100% を乗じて得た額を加算した額に 30% を減額した額とする。

### (3) 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。その場合、使用料の減免を受けようとする者は、使用料減免申請書（様式第 6 号）を提出しなければならない。ただし、指定管理者が減免申請書を提出する必要があると認める者については、この限りではない。

### (4) 指定管理者は、減免申請書を受理した場合、速やかにその内容を審査し、減免の可否を決定し、使用料減免決定通知書（様式第 7 号）によって、減免申請をした者に通知する。

## 6. 使用の承認等

### (1) 使用承認書の発行

申請者からの使用料納入が確認された後、使用承認書（様式第 4 号）を発行し、使用の承認を行うものとする。なお、使用承認書に代えて、施設使用券（様式第 5 号または第 5 号の 2）を交付することができる。

### (2) 使用の不承認

ア 次のいずれかに該当する場合は、使用の承認をしない。

(ア) 施設、附属設備等を損傷する恐れがあると認められるとき。

(イ) 使用の期間が長期にわたり、他の使用に妨げがあると認められるとき。なお、引き続き 6 日を越える使用は承認しない。

(ウ) 集団的に、又は常習的に暴力的不法行為を行う恐れがある組織の利益になると認められるとき。

(エ) 葬儀、告別式その他一般に忌み嫌う恐れがあると認められるとき。

(オ) 会合の性質が騒擾を起こす恐れがあると認められるとき。

(カ) 営業の宣伝その他これに類する行為で、その内容が市民センターの設置目的にふさわしくないと認められるとき。

(キ) 老人福祉施設を使用するにあたり、その使用者が満 60 歳に満たないとき

(ク) その他市民センターの維持管理に支障をきたす恐れがあるとき。

イ 特別集会施設およびコミュニティ供用施設については、上記アに加え、以下のいずれかに該当する場合の使用承認はしない。

(ア) 飲酒を目的とした催し物、懇親会等

(イ) 祭壇を設置するなど、布教活動につながる催し物と判断される場合。

(ウ) 月 1 回以上開催する定期的な教室等。ただし、小松市の主催またはそれに準ずるものは除く。

### (3) 承認の取消し等

ア 次のいずれかの場合は、承認の取消しをする。

(ア) 申請者が上記の「(2) 使用の不承認」に掲げる不承認の条件（イは除く）に該当することとなったとき。

(イ) 申請者が小松市民センター条例又はその条例に基づく諸規定に違反したとき。

(ウ) 使用の申請に重大な偽りがあったとき。

イ 申請者が、承認を受けた内容を変更しようとするときは、申請者に使用変更承認申請書（様式第 1 号）を提出させるものとする。ただし、軽微なものについては、この限りでない。

ウ 申請者から使用変更承認申請書が提出され、承認する場合には、使用変更承認書（様式第 4 号）を発行する。ただし、軽微なものについては、この限りではない。

エ 申請者が、使用承認を取消ししようとするときは、申請者に使用取消届（様式第 3 号）を提出させるものとする。

オ 使用の取消しがあった場合、すでに納入された基本使用料は、次のとおりに申請者へ返還する。なお、附属設備費、冷暖房費、その他加算費については、申請者に全額返還する。ただし、小松市民センター条例の規定に基づき使用取消しの処分がなされた場合は、この限りではない。

大ホール・小ホール		その他の施設	
使用日の 6 ヶ月前まで	全額返還	使用日の 5 日前まで 以 降	全額返還 返還しない
使用日の 4 ヶ月前まで	80%返還		
使用日の 2 ヶ月前まで	50%返還		
使用日の 5 日前まで	20%返還		
以 降	返還しない		

カ 市民センターの管理の都合により市民センターを使用させることができなくなった場合、または、風水害、火災その他の災害により市民センターを使用することができなくなった場合は、申請者に使用料を全額返還する。

#### 7. 使用料の精算

会場使用後には、未納となっている分の付属設備費等の精算を行う。

#### 8. その他

(1) 施設内での物品の陳列もしくは販売は、原則として許可しない。ただし、陳列もしくは販売の申し出があったもののうち、次のものについては、内容を十分検討した上、必要と認めた物品については、場所を指定して許可する。

ア 大、小ホールで行う催し物に関連する物品で、申し出があった場合。

イ 営利を目的とした企業以外の団体が、小ホールで会員または組合員等を対象として行う展示（この場合、宣伝行為は行わないことを条件とする）。

ウ コミュニティ供用施設を使用して行う企業内の研修に係る陳列。

(2) コミュニティ供用施設・老人福祉施設における楽器使用、カラオケ、飲酒は禁止する。

(3) ロビー、エントランス、ホワイエ、駐車場等、使用料の設定のない場所は、原則として専用使用はさせない。

(4) 老人福祉施設にある作業室（カルチャー室）は個人使用および専用使用はさせない。

(5) 次に掲げるような、使用にあたって関係官公署への届出等が必要な場合には、申請者に手続きについて指導すること。

内 容	手続き先
警備防犯（集会届）	小松警察署
防火管理（火気等の使用許可申請）	小松市消防本部
音楽著作権	日本音楽著作権協会 北陸支部